

溶解度と再結晶

No. 1

名前

点

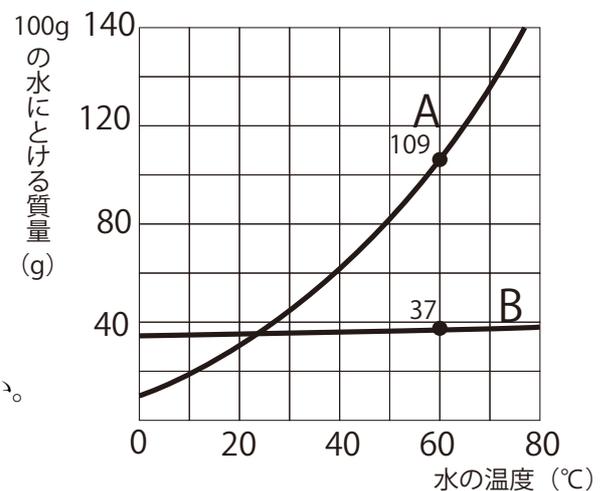
1 次の () に適当な語句を入れなさい。

- ① ある温度の一定量の水に物質をとかしていき、物質がそれ以上とけきれなくなったとき、 () したといい、その水溶液を () という。
- ② 100 g にとける物質の限界の量を () という。
- ③ 一般に、②は温度が高くなると () なる。
- ④ 水の温度ごとの②をグラフに表したものを () という。
- ⑤ 固体を一度水にとかして、ふたたび結晶としてとりだす方法を () という。

2 右の図は、100gの水にとける食塩と硝酸カリウムの質量と各温度における溶解度を示したものである。

次の問いに答えなさい。

- ① 食塩の溶解度を表しているのはA, Bのどちらか
- ② 60°Cの水100gには硝酸カリウムは何gとけているか。
- ③ 60°Cの水100gに食塩を 20 g 入れてかき混ぜたら、食塩は全部とけた。食塩はあと何gとがすことができるか。
- ④ 20 °Cののとき溶解度が大きいのは硝酸カリウムと食塩のどちらか。



解答

1

- ① ある温度の一定量の水に物質をとかしていき、物質がそれ以上とけきれなくなったとき、（ 飽和 ） したといい、その水溶液を（ 飽和水溶液 ） という。
- ② 100 g にとける物質の限界の量を （ 溶解度 ） という。
- ③ 一般に、②は温度が高くなると （ 大きく ） なる。
- ④ 水の温度ごとの②をグラフに表したものを （ 溶解度曲線 ） という。
- ⑤ 固体を一度水にとかして、ふたたび結晶としてとりだす方法を（ 再結晶 ） という。

2

- ① B （食塩の溶解度は温度によってほとんど変化しない）
- ② 109 g
- ③ $37 - 20 = 17$ g
- ④ 食塩